

# 奈良県感染症情報

平成 28 年 第 1 週( 1 月 4 日～ 1 月 10 日)  
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要 ◆ 小児科外来情報

## インフルエンザの流行が始まっています

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	5.68	(3.50)	↘	↘	↘	→
2	RS ウイルス感染症	2.53	(1.56)	↘	↘	↘	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	1.68	(0.85)	→	→	↗	↓
4	インフルエンザ	1.17	(0.17)	↑↑	↑	↑↑	↑↑
5	伝染性紅斑	1.12	(0.18)	↑	↑	→	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 ↑↑急増、↑増加、↗やや増加、→横ばい、↘やや減少、↓減少

### ◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの定点あたりの報告数が、流行開始の目安となる「1」を超えています。年齢に偏りはなく、すべての年齢層から報告が出ています。近隣2府4県についても同様な傾向です。また、今週は中和保健所管内で集団発生(保育園)がありました。今後さらに広がりを見せるおそれがあるので、手洗い・うがいを励行し予防に努めましょう。また、人が多く集まる場では特に咳エチケットを心がけてください。

感染性胃腸炎は、全体的にやや減少しています。患者は0歳児から5歳児までが全体の65%を占めていますので保育所や幼稚園など、子ども同士の接触が増える場所では、タオル、食器、おもちゃの共有を避けるなどして感染を広げないように注意してください。また、20歳以上からの報告が30例ありました。大人も外出後など手洗いをこまめに行い、感染者の嘔吐物等を処理する際に二次感染しないようにしてください。

### ❖ 小児科外来情報 ❖

#### 北部地区(矢追医院)

正月休みで感染性胃腸炎は減少した。保育園児でRSウイルス感染症が、流行性耳下腺炎が園の年長児で流行している。水痘は小学生以上で多くみられる。インフルエンザはまだほとんどみられないが、発熱後に咳がひどく長引くマイコプラズマ肺炎の確診例と疑い例が1か月以上前より小学生以上成人まで大流行している。

#### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は暖冬のためか多くない。  
 インフルエンザはA型が成人で僅かに散発してみられる程度。  
 マイコプラズマ、RS気管支炎は新年になって減少した。  
 感染性胃腸炎が流行中。嘔吐が主でノロ様。ロタはない。  
 伝染性紅斑の流行が続いている。その他水痘は少し。

#### 南部地区(県立五條病院小児科)

ムンプスの流行は鎮静化してきた。RSウイルスは減少傾向にあるが、ノロウイルスの流行は続いている。1月になってA型のインフルエンザが増加してきた。症状は例年と変わっていない。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 28 年 第 1 週 1 月 4 日 ~ 10 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ	63	1	16	19	20	7		
	(1.17)	(0.09)	(1.00)	(1.73)	(1.82)	(3.50)		
小児科定点数	34	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症	86	12	21	25	24	1	3	
	(2.53)	(1.71)	(2.10)	(3.57)	(3.43)	(1.00)	(1.50)	
咽頭結膜熱	15	3	7	3	2			
	(0.44)	(0.43)	(0.70)	(0.43)	(0.29)			
A群溶連菌咽頭炎	57	8	24	8	17			
	(1.68)	(1.14)	(2.40)	(1.14)	(2.43)			
感染性胃腸炎	193	34	47	32	71	5	4	
	(5.68)	(4.86)	(4.70)	(4.57)	(10.14)	(5.00)	(2.00)	
水痘	16	6	3	3	4			
	(0.47)	(0.86)	(0.30)	(0.43)	(0.57)			
手足口病								
伝染性紅斑	38	21	9	2	5		1	
	(1.12)	(3.00)	(0.90)	(0.29)	(0.71)		(0.50)	
突発性発しん	8	4	3		1			
	(0.24)	(0.57)	(0.30)		(0.14)			
百日咳	3	3						
	0	0						
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	30	11	14	3	1	1		
	(0.88)	(1.57)	(1.40)	(0.43)	(0.14)	(1.00)		
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	4		2	1	1			
	(0.44)		(0.67)	(0.50)	(0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎	1		1					
	(0.17)		(0.50)					
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	12	3			6	3		
	(2.00)	(3.00)			(6.00)	(3.00)		
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核5件(奈良市1、郡山1、中和1、内吉野2)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症1件(郡山1)
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌感染症1件(郡山1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(郡山1)

❖ 第1週のトピックス ❖

◆鳥インフルエンザA(H5N6)の発生状況

<http://www.forth.go.jp/topics/2016/01121103.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。  
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

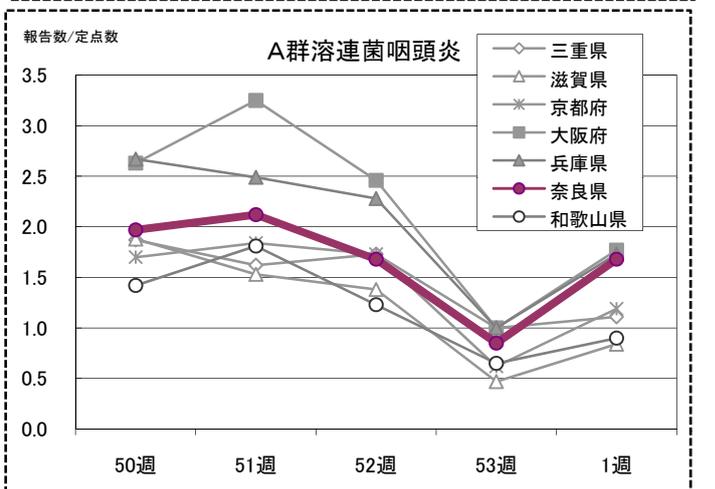
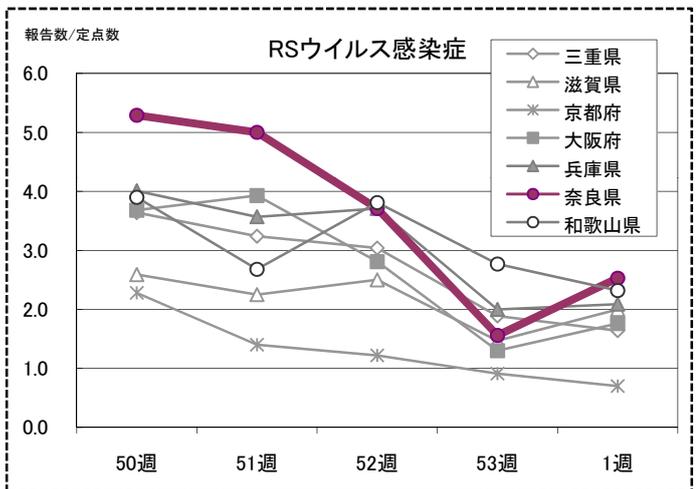
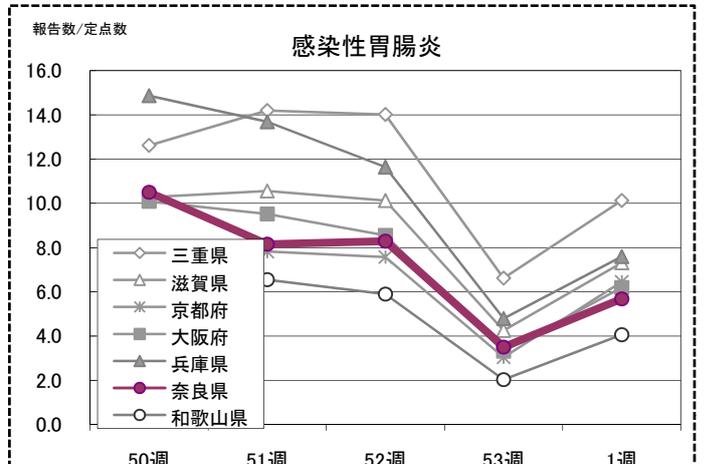
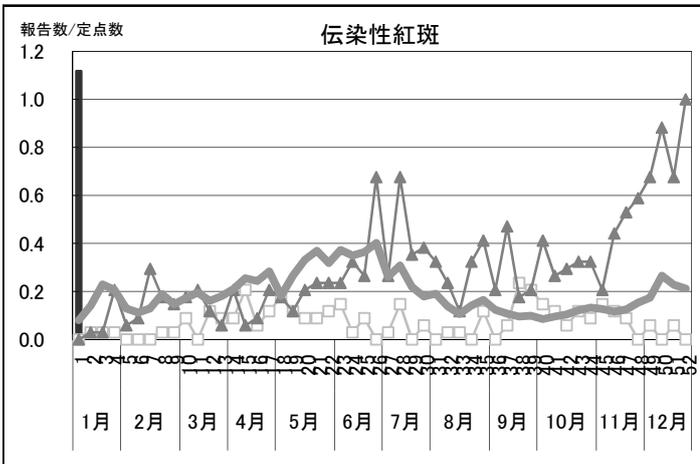
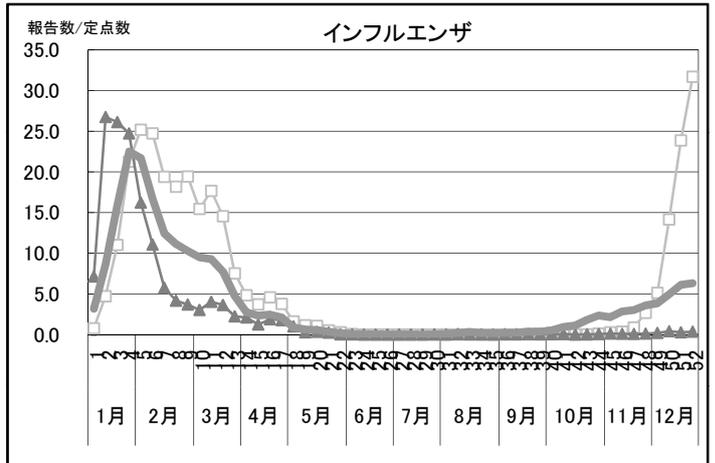
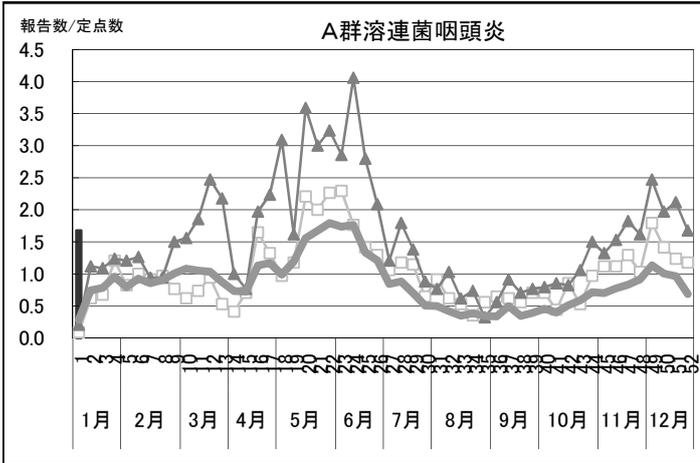
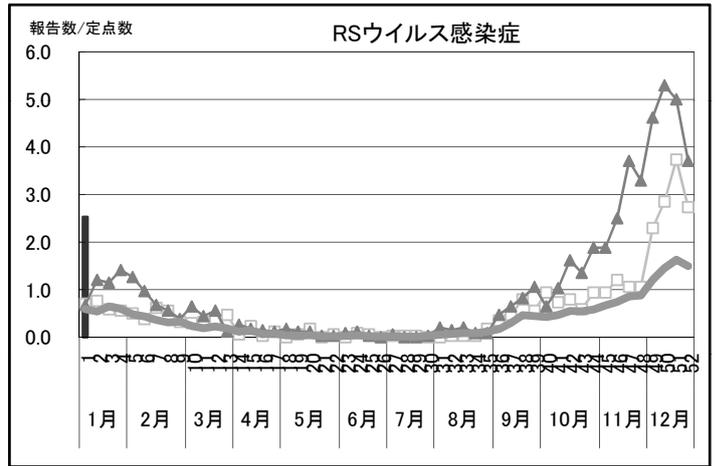
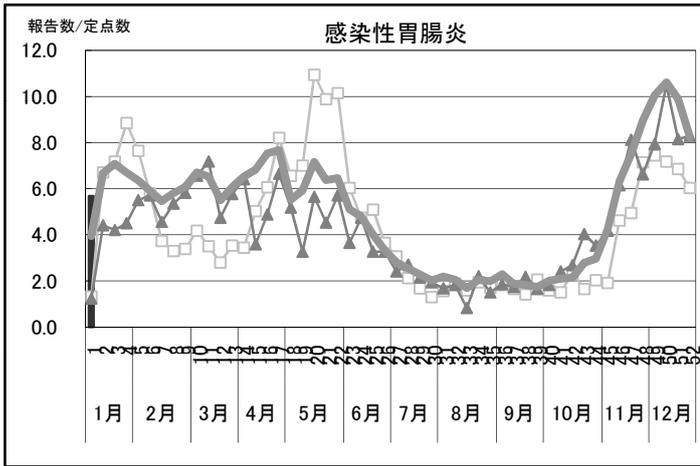
上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男		1	2	3	2	3	1	2	2	2	2	3	3	2	3	1	1	1	1		30	30
	女			1	2	1	1		1	1	1	1	5	4	1	5	7	1	1	1		33	33
RSウイルス感染症	男	7	10	15	3			1														36	36
	女	11	15	10	8	5	1															50	50
咽頭結膜熱	男		2	2	2	2	1			1												10	10
	女				2	1								1		1						5	5
A群溶連菌咽頭炎	男			3	2	6	1	2	2	4	2	4	4									32	32
	女		1	1	2	1	2	3	5	1	1	3	1	4								25	25
感染性胃腸炎	男	1	8	11	8	13	11	14	5	3	1	2	7	4	14							102	102
	女		3	22	9	11	4	11	1	2	5	1	5	1	16							91	91
水痘	男				1			4	1	2	1		2									11	11
	女							1		3												5	5
手足口病	男																						
	女																						
伝染性紅斑	男				2	4	3	3	2	1	2											17	17
	女					7	4	3	4	1			1		1							21	21
突発性発しん	男			1			1															2	2
	女			4																		6	6
百日咳	男		2	1																		3	3
	女																						
ヘルパンギーナ	男																						
	女																						
流行性耳下腺炎	男			1	1	2	3	1	2	1	2	3			1							17	17
	女			1	1	1	3	3	3	1	1	1										13	13
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男																1			1		2	2
	女																					2	2
細菌性髄膜炎	男																					1	1
	女																						
無菌性髄膜炎	男																						
	女																						
マイコプラズマ肺炎	男		2	4									1									7	7
	女			5																		5	5
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	男																						
	女																						

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

— H28 ▲ H27 □ H26 〻 過去10年平均



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 27 年 12 月

	報告数						報告数÷定点数														累計は、2015年1月からの累計					
	奈良県	北部		中部		南部		年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計
性感染症定点数	9	3	2	2	0	0	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-				
性器クラミジア感染症	11 (1.22)	2 (0.67)	5 (2.50)	1 (0.50)	3 (1.50)	...	男							1		1	2		2					7	82	
性器ヘルペス	5 (0.56)		4 (2.00)	1 (0.50)	...	...	女									1	3			1				5	18	
尖圭コンジローマ	3 (0.33)		3 (1.50)		...	...	男								1		1							2	28	
淋菌感染症	5 (0.56)		4 (2.00)	1 (0.50)	...	...	女						1	1	1		2							1	19	
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-				
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	36 (6.00)	15 (15.00)	10 (5.00)	7 (7.00)	4 (4.00)	...	男	2		1						1	1	2				1	16	24	266	
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	16 (2.67)		14 (7.00)	2 (2.00)	...	...	女	2	1				1			1		2				1	7	12	135	
薬剤耐性緑膿菌感染症					...	...	男									1						1	4	9	54	
					...	...	女			3												1	2	7	35	
					...	...	男																			3
					...	...	女																			

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

■ H27 ▲ H26 □ H25

